

またらの風



令和8年6月3日
学校便り No.5
校長 上田 一正

『 育てよう自分らしさ、認めよう仲間の良さ、つなげよう馬渡の力 』
～自分を愛し、周りの人を愛し、島を愛する児童生徒に～

～運動会(5月23日・土)の余韻とこれからに向けて～

予定していた5月23日、延べ150人超の参加・参観をいただき、島民運動会を実施することができました。本部席から(時に競技に参加しながら)児童生徒の精一杯競技・応援・役割に取り組む姿を目の当たりにし、目頭が熱くなってしまいました。

印象に残る場面が多くあったのですが、応援合戦を控えた休憩の時間、紅白の児童生徒が仲良く雑談し、士気を高めている姿に、普段からの彼らの素晴らしさを再発見した気がしました。少人数だからこそ小2から中3



の児童生徒全員が同じものを共有している、児童生徒と職員と島民が同じものを共有している、コミュニティとして寄り添いあっている、大切にすべきものを教えてもらいました。

いただいた賛否両方のご意見を含め、次年度以降、少数精鋭の児童生徒とどんな学校行事を作っていくのか、より多くの島民の方々とともに共有できる形はどんなものか、これから練っていきます。

～「思いやりの気持ち」・交通安全教室より～



5月22日(金)3時間目に、安全教育担当職員の企画運営と、小6児童の進行により交通安全教室を実施しました。佐賀県内のほとんどすべての小中学校において1学期に実施されている「交通安全教室」になります。しかし、講師として来ていただいた唐津署の古川さんのお話の内容と想い、そして馬渡小中の児童生徒の学ぶ姿勢、は私がこれまで経験したどの「交通安全教室」よりも参加した人の内面に刺さる内容でした。

児童生徒の感想から部分拝借します…

「また、思いやりをもって運転するのがとても大事だなと思いました」、「今日学んだ“思いやり運転”を意識して…」、「他者への思いやりの話が印象に残りました」、「思いやり運転をすることで事故を防ぐことができ安全に生活できると思いました」

運転だけでなく社会生活の根幹に「思いやり」があると良い社会になるはずですし、そのことに気付いた児童生徒もいました。もうひとつ、「脳は豆腐くらいの硬さで強い衝撃で後遺症が残る」という内容も刺さりまくっていました。

～台風6号の影響～

台風6号が九州に最接近したのが6月2日(火)でした。この日は、馬渡中学校と加唐中学校の生徒が海青中学校において交流学习を行なう計画を立て、準備を進めていました。前日にお伝えしていたのですが、残念ながら今回は台風の影響を考慮して中止することにしました。当日は船も全便欠航ではありましたが、受け入れ先の海青中学校の対応や給食食数の変更の対応を行なうため、前日昼頃に態度決定した次第です。